

図 II-1-6 小針クリーンセンター施設配置図及び外観

〈小針クリーンセンター フローシート〉

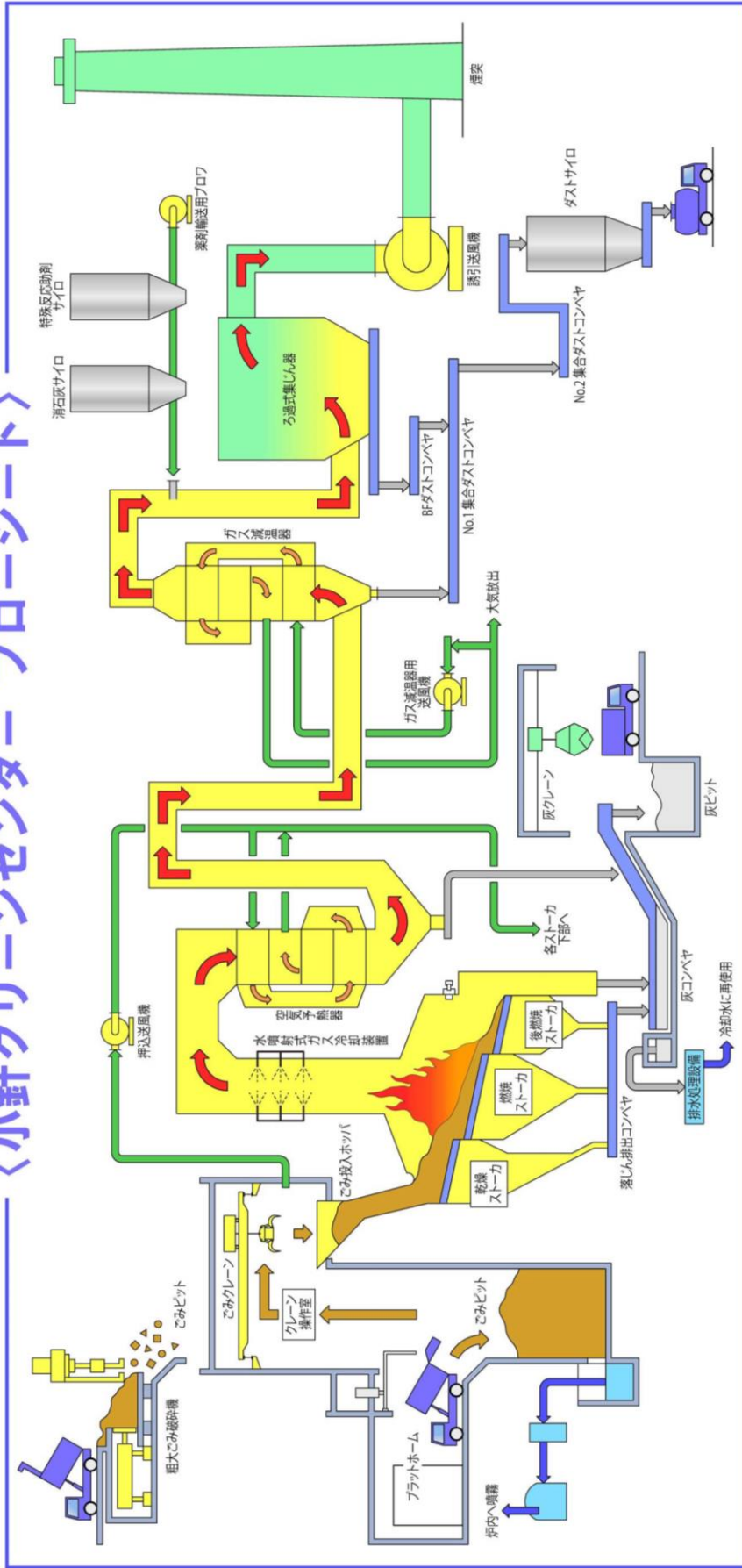
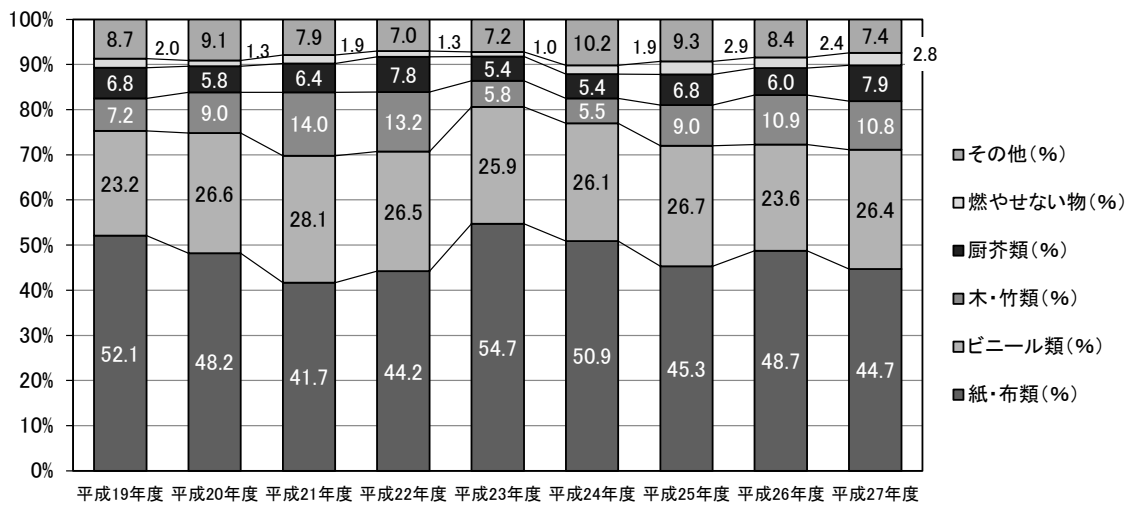


図 II-1-7 小針クリーンセンターの焼却処理フロー

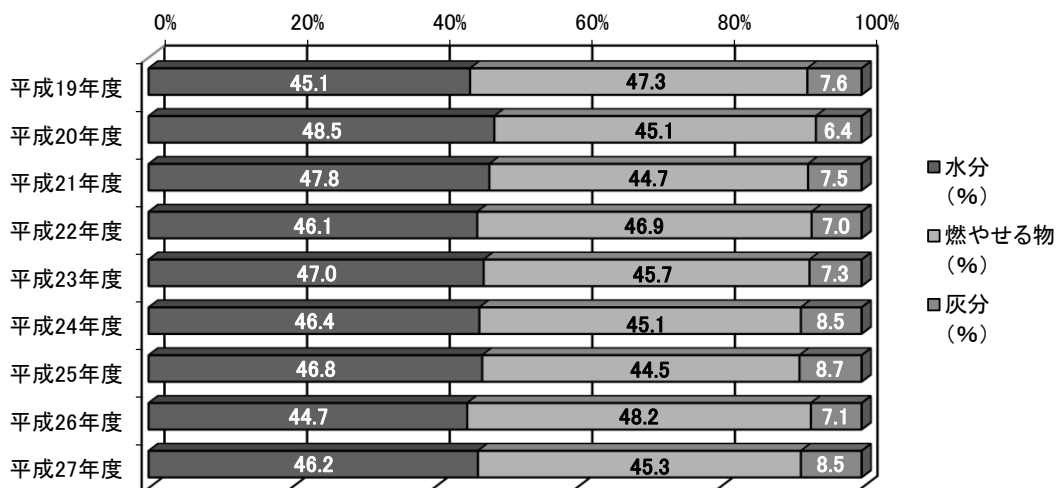
表Ⅱ-1-8 小針クリーンセンターにおけるごみ組成値と三成分値（平均値）

年度	ごみ組成値						三成分値				見掛比重 (kg/m ³)	低位発熱量 (kJ/kg)
	紙・布類 (%)	ビニール類 (%)	木・竹類 (%)	厨芥類 (%)	燃やせない 物 (%)	その他 (%)	水分 (%)	燃やせる物 (%)	灰分 (%)	合計 (%)		
19	52.1	23.2	7.2	6.8	2.0	8.7	45.1	47.3	7.6	100	227	9,687
20	48.2	26.6	9.0	5.8	1.3	9.1	48.5	45.1	6.4	100	228	9,252
21	41.7	28.1	14.0	6.4	1.9	7.9	47.8	44.7	7.5	100	225	9,323
22	44.2	26.5	13.2	7.8	1.3	7.0	46.1	46.9	7.0	100	222	9,709
23	54.7	25.9	5.8	5.4	1.0	7.2	47.0	45.7	7.3	100	240	9,313
24	50.9	26.1	5.5	5.4	1.9	10.2	46.4	45.1	8.5	100	222	9,442
25	45.3	26.7	9.0	6.8	2.9	9.3	46.8	44.5	8.7	100	220	9,423
26	48.7	23.6	10.9	6.0	2.4	8.4	44.7	48.2	7.1	100	217	9,921
27	44.7	26.4	10.8	7.9	2.8	7.4	46.2	45.3	8.5	100	227	9,557

出典：埼玉県一般廃棄物処理事業の概況



図Ⅱ-1-8 ごみ組成推移値（小針クリーンセンター）



図Ⅱ-1-9 ごみ三成分値（小針クリーンセンター）

(2) 不燃物処理施設

本市の収集及び直接搬入した燃やせないごみは、以下の表のとおり、鴻巣市不燃物ストック場において一時保管を行っています。

表Ⅱ-1-9 不燃物処理（一時保管）施設の概要

項 目	内 容
名 称	鴻巣市不燃物ストック場
所 在 地	埼玉県鴻巣市上谷 596 番地 1
	埼玉県鴻巣市鎌塚 98 番地 18（粗大ごみを含む）
施 設 所 管	鴻巣市環境経済部環境課
施 設 種 類	一時保管施設

(3) 粗大ごみ処理施設

本市の収集及び直接搬入した粗大ごみは、以下の表のとおり、埼玉中部環境センターにおいて破砕処理を行っています。

表Ⅱ-1-10 粗大ごみ処理施設の概要

項 目	内 容
名 称	埼玉中部環境センター（粗大ごみ処理施設）
所 在 地	埼玉県比企郡吉見町大字大串 2808 番地
施 設 所 管	埼玉中部環境保全組合
敷 地 面 積	1,300 m ²
建 設 年 度	着工 昭和 58 年 8 月
	竣工 昭和 59 年 8 月
設 計 ・ 施 工	三菱重工業株式会社
処 理 能 力	45 t /5 h
破 砕 方 式	ハンマアンドカッター式
選 別 種 類	3 種選別（鉄類、可燃物、不燃物）

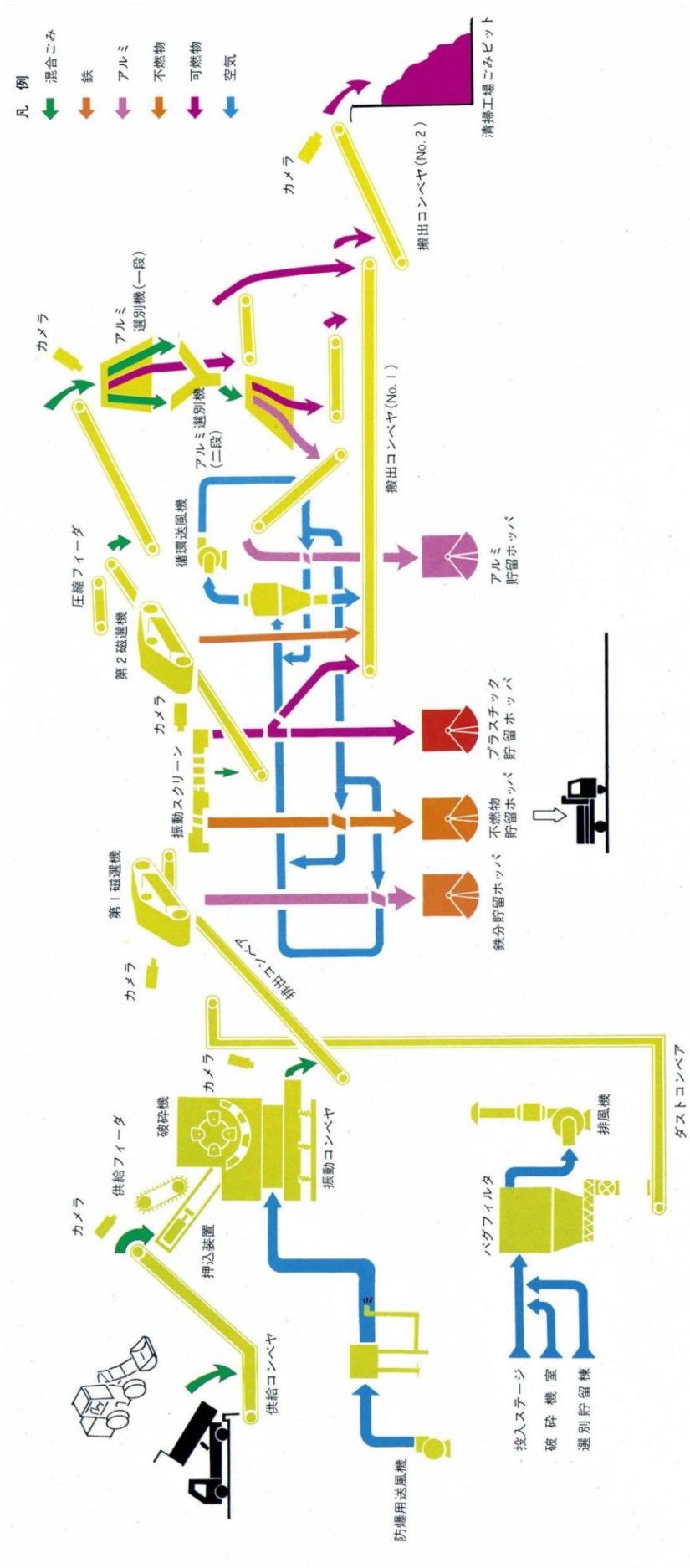


図 II-1-10 破碎処理フロー

5 最終処分の現況

本市の資源化及び最終処分の現況は、以下の表のとおりです。

表Ⅱ-1-11 ごみ処理別最終処分の現況

ごみ種類	資源化	埋立処分
燃やせるごみ	○	—
燃やせないごみ	○	○
プラスチック製 容器包装(資源)類	○	—
資源類	○	—
粗大ごみ	○	—

6 一般廃棄物処理の現況

(1) 平成 26 年度実績

平成 26 年度における本市のごみ総排出量は、35,892t であり、うち、家庭系ごみが 28,259t (78.7%)、事業系ごみが 6,538t (18.2%)、集団回収が 1,095t (3.1%) となっています。

1 人 1 日当たりごみ排出量でみると、平成 26 年度の総排出量は 823g であり、うち、家庭系ごみが 648g、事業系ごみが 150g、集団回収が 25g となっています。

(2) 平成 19 年度との比較

平成 19 年度と比較すると、平成 26 年度のごみ総排出量は 2,768 t (7.2%) 減少しています。内訳は、家庭系ごみは 2,211t (7.3%) の減少、事業系ごみは 96t (1.4%) の減少に対し、集団回収は 461t (29.6%) 減少しており、集団回収の減少率が高くなっています。

1 人 1 日当たりごみ排出量を平成 19 年度と比較すると、平成 26 年度のごみ総排出量は 51g (5.8%) 減少しています。内訳は、家庭系ごみは 41g (5.9%) の減少、集団回収は 10g (28.6%) の減少に対し、事業系ごみは 0g (増減なし) となっています。

(3) 県、国との比較

1 人 1 日当たりごみ排出量を埼玉県平均及び全国平均と比較すると、本市は 823g であるのに対し、埼玉県は 897g、全国は 947g となっており (平成 26 年度)、本市の 1 人 1 日当たりごみ排出量は少ない方になります。

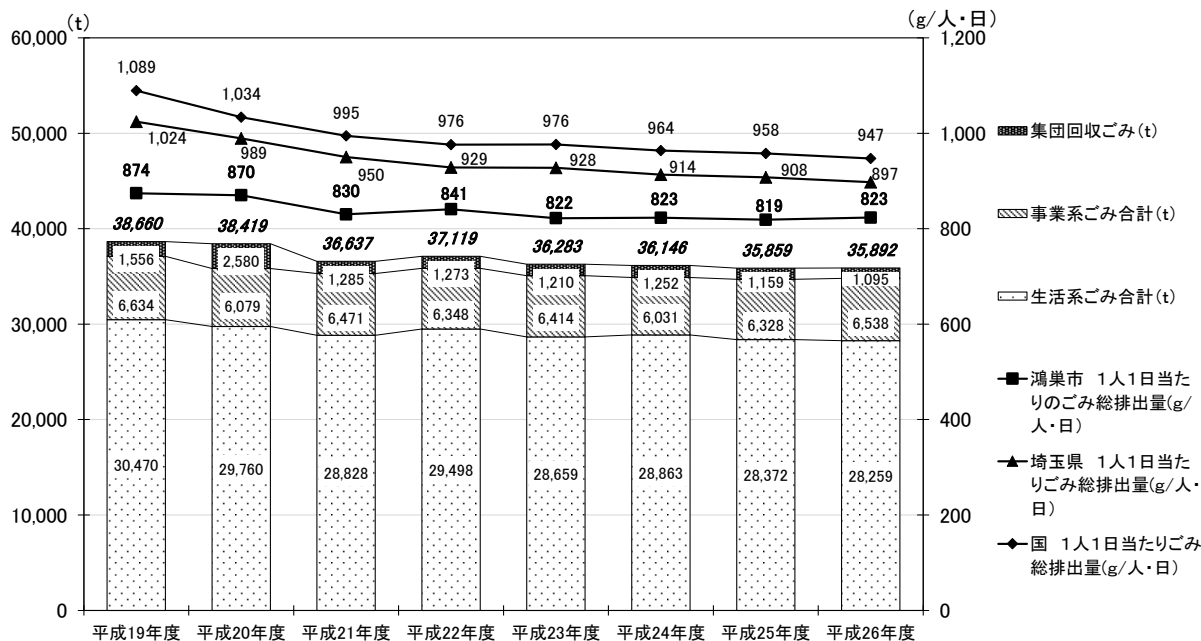


図 II-1-11 鴻巣市の一般廃棄物処理量の現況

表Ⅱ-1-12 一般廃棄物処理量の現況

項目		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
行政区域内人口(人)	外国人を含む	120,817	120,962	120,899	120,954	120,601	120,336	119,978	119,415
計画収集人口(人)	外国人を含む	120,817	120,962	120,899	120,954	120,601	120,336	119,978	119,415
自家処理人口(人)	外国人を含む	0	0	0	0	0	0	0	0
ごみ排出量 (t)	総排出量	38,660	38,419	36,584	37,119	36,283	36,146	35,859	35,892
	家庭系ごみ	30,470	29,780	28,828	29,498	28,659	28,863	28,372	28,259
	燃やせるごみ	19,101	19,177	18,414	19,231	18,700	19,027	18,594	18,816
	燃やせないごみ	2,939	2,752	2,670	2,861	2,925	2,882	2,911	2,843
	資源類	7,950	7,340	7,238	6,867	6,465	6,411	6,283	6,100
	粗大ごみ	480	491	506	539	569	543	584	500
	事業系ごみ	6,834	6,079	6,471	6,348	6,414	6,031	6,328	6,538
	燃やせるごみ	6,512	5,983	6,389	6,273	6,343	5,974	6,279	6,478
	粗大ごみ	122	96	82	75	71	57	49	60
	集団回収	1,556	2,580	1,285	1,273	1,210	1,252	1,159	1,095
	(再掲)								
	燃やせるごみ	25,613	25,160	24,803	25,504	25,043	25,001	24,873	25,294
	燃やせないごみ	2,939	2,752	2,670	2,861	2,925	2,882	2,911	2,843
	資源類	7,950	7,340	7,238	6,867	6,465	6,411	6,283	6,100
	粗大ごみ	602	587	588	614	640	600	633	560
集団回収	1,556	2,580	1,285	1,273	1,210	1,252	1,159	1,095	
1人1日当たり ごみ排出量 (g/人・日)	総排出量	874	870	829	841	822	823	819	823
	家庭系ごみ	689	674	653	668	649	657	648	648
	燃やせるごみ	432	434	417	436	424	433	425	432
	燃やせないごみ	66	62	61	65	66	66	66	65
	資源類	180	166	164	156	146	146	143	140
	粗大ごみ	11	11	11	12	13	12	13	11
	事業系ごみ	150	138	147	144	145	137	145	150
	燃やせるごみ	147	136	145	142	144	136	143	149
	粗大ごみ	3	2	2	2	2	1	1	1
	集団回収	35	58	29	29	27	29	26	25
	(再掲)								
	燃やせるごみ	579	570	562	578	567	569	568	580.3
	燃やせないごみ	66	62	61	65	66	66	66	65.2
	資源類	180	166	164	156	146	146	143	140.0
	粗大ごみ	14	13	13	14	14	14	14	12.8
集団回収	35	58	29	29	27	29	26	25.1	
日数		366	365	365	365	366	365	365	365

(平成19年度比)

項目		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
行政区域内人口(人)	外国人を含む	100.0%	100.1%	100.1%	100.1%	99.8%	99.6%	99.3%	98.8%
ごみ排出量	総排出量	100.0%	99.4%	94.6%	96.0%	93.9%	93.5%	92.8%	92.8%
	家庭系ごみ	100.0%	97.7%	94.6%	96.8%	94.1%	94.7%	93.1%	92.7%
	燃やせるごみ	100.0%	100.4%	96.4%	100.7%	97.9%	99.6%	97.3%	98.5%
	燃やせないごみ	100.0%	93.6%	90.8%	97.3%	99.5%	98.1%	99.0%	96.7%
	資源類	100.0%	92.3%	91.0%	86.4%	81.3%	80.6%	79.0%	76.7%
	粗大ごみ	100.0%	102.3%	105.4%	112.3%	118.5%	113.1%	121.7%	104.2%
	事業系ごみ	100.0%	91.6%	97.5%	95.7%	96.7%	90.9%	95.4%	98.6%
	燃やせるごみ	100.0%	91.9%	98.1%	96.3%	97.4%	91.7%	96.4%	99.5%
	粗大ごみ	100.0%	78.7%	67.2%	61.5%	58.2%	46.7%	40.2%	49.2%
	集団回収	100.0%	165.8%	82.6%	81.8%	77.8%	80.5%	74.5%	70.4%
	(再掲)								
	燃やせるごみ	100.0%	98.2%	99.6%	97.8%	97.8%	97.6%	97.1%	98.8%
	燃やせないごみ	100.0%	93.6%	90.8%	97.3%	99.5%	98.1%	99.0%	96.7%
	資源類	100.0%	92.3%	91.0%	86.4%	81.3%	80.6%	79.0%	76.7%
	粗大ごみ	100.0%	97.5%	97.7%	102.0%	106.3%	99.7%	105.1%	93.0%
集団回収	100.0%	165.8%	82.6%	81.8%	77.8%	80.5%	74.5%	70.4%	
1人1日当たり ごみ排出量	総排出量	100.0%	99.5%	94.8%	96.2%	94.0%	94.1%	93.7%	94.2%
	家庭系ごみ	100.0%	97.8%	94.8%	97.0%	94.2%	95.4%	94.0%	94.1%
	燃やせるごみ	100.0%	100.6%	96.6%	100.8%	98.1%	100.3%	98.3%	99.9%
	燃やせないごみ	100.0%	93.8%	91.0%	97.5%	99.7%	98.7%	100.0%	98.1%
	資源類	100.0%	92.5%	91.2%	86.5%	81.5%	81.2%	79.8%	77.8%
	粗大ごみ	100.0%	102.4%	105.6%	112.5%	118.8%	113.9%	122.9%	105.7%
	事業系ごみ	100.0%	91.8%	97.7%	95.8%	96.9%	91.5%	96.3%	100.0%
	燃やせるごみ	100.0%	92.0%	98.3%	96.5%	97.6%	92.4%	97.4%	100.9%
	粗大ごみ	100.0%	78.8%	67.4%	61.6%	58.3%	47.0%	40.6%	49.9%
	集団回収	100.0%	166.1%	82.8%	81.9%	77.9%	81.0%	75.2%	71.4%
	(再掲)								
	燃やせるごみ	100.0%	98.4%	97.0%	99.7%	99.9%	98.3%	98.1%	100.2%
	燃やせないごみ	100.0%	93.8%	91.0%	97.5%	99.7%	98.7%	100.0%	98.1%
	資源類	100.0%	92.5%	91.2%	86.5%	81.5%	81.2%	79.8%	77.8%
	粗大ごみ	100.0%	97.7%	97.9%	102.2%	106.5%	100.3%	106.2%	94.4%
集団回収	100.0%	166.1%	82.8%	81.9%	77.9%	81.0%	75.2%	71.4%	

出典：一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）

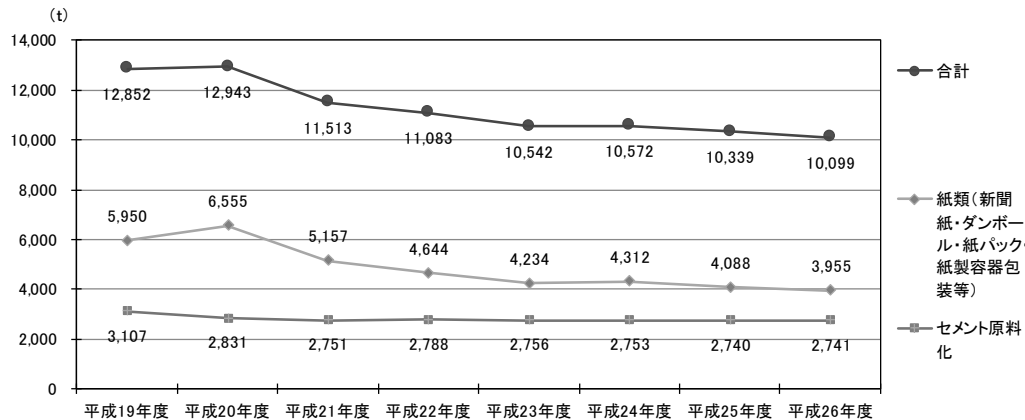
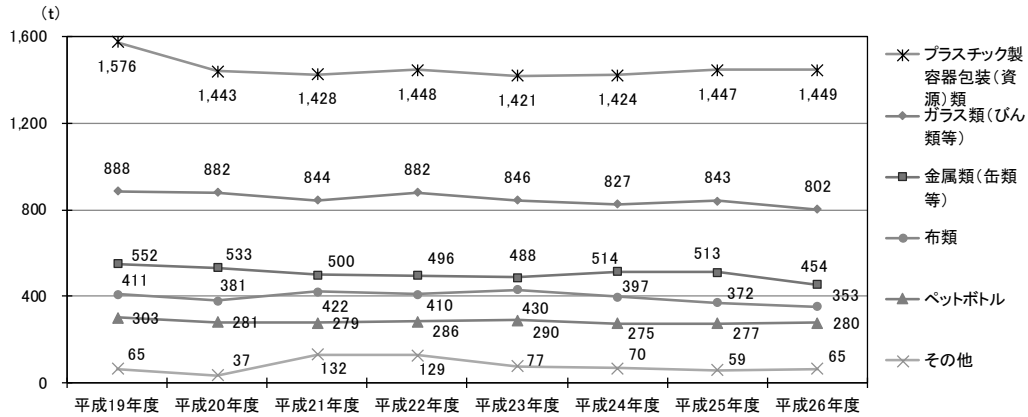
7 資源化の現況

本市の資源化量の現況は、平成19年度から平成26年度にかけて、ほとんどの資源類で減少傾向にあり、平成19年度と比較して、平成26年度は2,753t（21.4%）減少しています。

表Ⅱ-1-13 資源化量の現況

項目	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
ガラス類(びん類等) (t)	888	882	844	882	846	827	843	802
平成19年度比	100.0%	99.3%	95.0%	99.3%	95.3%	93.1%	94.9%	90.3%
金属類(缶類等) (t)	552	533	500	496	488	514	513	454
平成19年度比	100.0%	96.6%	90.6%	89.9%	88.4%	93.1%	92.9%	82.2%
ペットボトル (t)	303	281	279	286	290	275	277	280
平成19年度比	100.0%	92.7%	92.1%	94.4%	95.7%	90.8%	91.4%	92.4%
紙類(新聞紙・ダンボール・ 紙パック・紙製容器包装 等) (t)	5,950	6,555	5,157	4,644	4,234	4,312	4,088	3,955
平成19年度比	100.0%	110.2%	86.7%	78.1%	71.2%	72.5%	68.7%	66.5%
布類・衣類(t)	411	381	422	410	430	397	372	353
平成19年度比	100.0%	92.7%	102.7%	99.8%	104.6%	96.6%	90.5%	85.9%
プラスチック製容器包装 (資源)類(t)	1,576	1,443	1,428	1,448	1,421	1,424	1,447	1,449
平成19年度比	100.0%	91.6%	90.6%	91.9%	90.2%	90.4%	91.8%	91.9%
セメント原料化(t)	3,107	2,831	2,751	2,788	2,756	2,753	2,740	2,741
平成19年度比	100.0%	91.1%	88.5%	89.7%	88.7%	88.6%	88.2%	88.2%
その他(t)	65	37	132	129	77	70	59	65
平成19年度比	100.0%	56.9%	203.1%	198.5%	118.5%	107.7%	90.8%	100.0%
合計(t)	12,852	12,943	11,513	11,083	10,542	10,572	10,339	10,099
平成19年度比	100.0%	100.7%	89.6%	86.2%	82.0%	82.3%	80.4%	78.6%

出典：一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）



出典：一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）

図Ⅱ-1-12 資源化量の現況

本市では、資源化の割合を示す指標として、資源化率Ⅰと資源化率Ⅱの2つの指標を設けています。

資源化率Ⅰは、資源類と集団回収量を合わせた量と、ごみ総排出量との比であり、平成19年度は24.6%でしたが、平成26年度には20.0%に落ち込んでいます。平成26年度の埼玉県平均は17.8%、全国平均は16.7%であり、本市の方が高くなっています。

資源化率Ⅱは、集団回収量と直接資源化量（中間処理施設を経ずに再生業者等に直接搬入される量）及び施設資源化量（中間処理施設において再生利用される量）を合計した量と、ごみ総排出量との比であり、実際にリサイクルされた量の割合になります。平成19年度は33.2%でしたが、平成26年度には28.1%に落ち込んでいます。

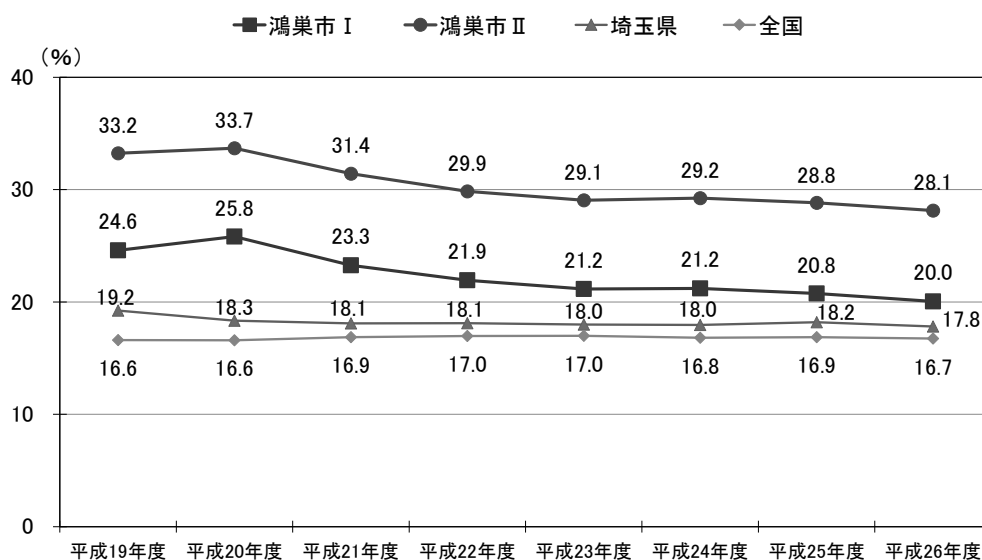
表Ⅱ-1-14 資源化率の現況

(単位：%)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
鴻巣市Ⅰ	24.6	25.8	23.3	21.9	21.2	21.2	20.8	20.0
鴻巣市Ⅱ	33.2	33.7	31.4	29.9	29.1	29.2	28.8	28.1
埼玉県Ⅰ	19.2	18.3	18.1	18.1	18.0	18.0	18.2	17.8
全国Ⅰ	16.6	16.6	16.9	17.0	17.0	16.8	16.9	16.7

注) 直接資源化量：中間処理施設を経ずに再生業者等に直接搬入される量
 施設資源化量：中間処理施設において再生利用される量
 資源化量：集団回収ごみ＋直接資源化量＋施設資源化量
 資源化率Ⅰ：資源類（生活系＋事業系）＋集団回収量／ごみ総排出量（生活系＋事業系＋集団回収量）
 （鴻巣市と比較するため、埼玉県と国の資源化率は、資源化率Ⅰと同じ算定方法を用いている。）
 資源化率Ⅱ：（直接資源化量＋施設資源化量＋集団回収量）／ごみ総排出量

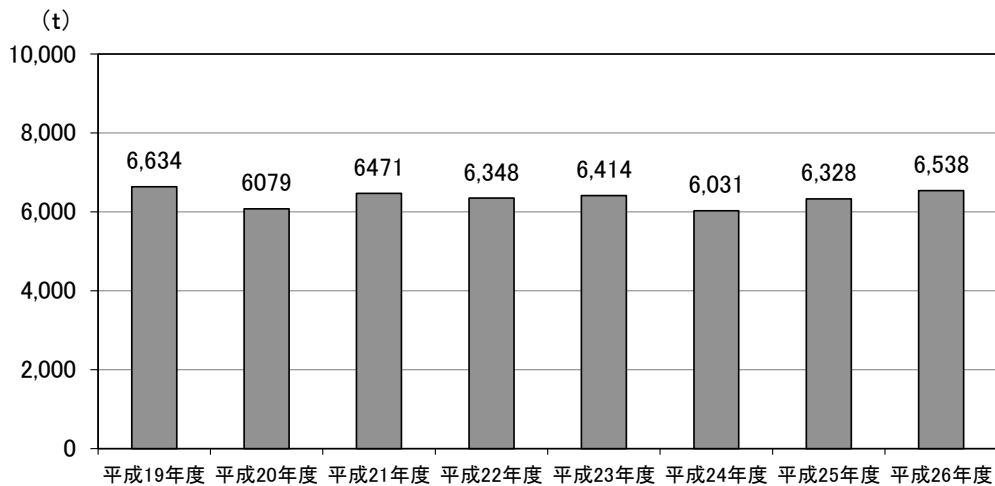
出典：一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）



図Ⅱ-1-13 資源化率の推移

8 事業系ごみの現況

本市の事業系ごみ排出量の現況は、平成19年度から平成26年度にかけて、増減を繰り返しています。



出典：一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）

図Ⅱ-1-14 事業系一般廃棄物処理量の現況

9 最終処分量の現況

本市の埼玉中部環境センターと小針クリーンセンターにおける焼却量及び残渣量は、次表のとおりとなっています。

表Ⅱ-1-15 焼却量及び残渣量の実績

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
直接焼却量 (t/年)	24,728	25,160	24,856	25,504	25,043	25,001	24,873	25,294
間接焼却量 (t/年)	2,284	2,142	2,354	2,513	2,599	2,389	2,391	2,330
焼却残渣量 (t/年)	103	65	55	77	115	124	125	71
処理残渣量 (t/年)	80	63	93	90	31	18	18	17

注) 直接焼却量：中間処理を行わないで、焼却した量

間接焼却量：中間処理を行った後、焼却した量

焼却残渣量：焼却施設等で焼却した灰等の量

処理残渣量：中間処理した後、焼却処理されない残渣の量

出典：一般廃棄物処理実態調査結果（環境省）